

ウクライナ支援募金（第2次）報告

2022年5月1日～8月31日：3,330,240円

横浜YMCAでは、2022年2月のウクライナ侵攻以来、世界に広がるYMCAネットワークを活用した緊急支援募金や避難支援を展開してきました。また横浜市と連携し、ウクライナから避難してきた人びとの支援活動に取り組んでいます。8月15日現在、神奈川県内には109名のウクライナから避難してきた人びとが生活しています。今後、それぞれが暮らすコミュニティで地域の人びととともに生活していくことができるよう、特に子どもとユースの成長の機会が守られるよう支援を続けていきます。皆さまのご支援とご協力に感謝いたします。ともに生きる仲間のことを思い、一日も早く平安が訪れることを願っています。



<大和生花店より>

企業協力によるウクライナ支援グッズ販売



<近沢レース店より>



街頭募金



手作りした募金箱

【ウクライナからのユース支援を通して】

横浜YMCAではウクライナから避難しているユースの日本語学習および就労支援を行っています。ウクライナ人の支援の相談対応やウクライナの文化の紹介・交流、行事の運営サポートなど横浜YMCAの支援活動にも取り組み、ユースエンパワーメントにつながっています。



アフタースクールで
ワークショップを実施



ウクライナカフェで
ワークショップのサポート



ユースカンファレンス
ユースに向けたウクライナの紹介

【オデーサ市柔道クラブの少年少女 一時避難のコーディネート】

横浜市は姉妹都市であるウクライナ・オデーサ市の柔道クラブの少年少女の一時避難の受け入れを行いました。横浜YMCAは、柔道の練習時間以外の日中活動の支援と全体コーディネートを行いました。



初めての富士山に感動
(富士山YMCAグローバル・エコ・ヴレッジ)



カヤック体験
(三浦YMCAグローバル・エコ・ヴレッジ)



日本文化・茶道体験

ウクライナ支援募金へのご協力をお願いします

この募金は、日本に避難しているウクライナの人びとの就労や教育など生活支援を中心とした長期のサポートのために用いられます。詳細はHPやQRコードからご確認ください。



<https://bit.ly/3uy3Rc6>